

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査の設計	3
4. 回収の結果	3
5. 報告書の見方	4
6. 標本誤差について	4
7. 調査対象者の抽出	6

II 調査結果の概要

1. 回答者の属性	11
2. 質問と回答	13

III 調査結果の分析

1. 定住性	31
(1) 居住年数	31
(2) 定住意向	34
(3) ずっと住みたい理由	39
(4) 当分は住みたい期間	42
(5) 住んでいるまちが魅力的か	46
2. 暮らしやすさ	49
(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ	49
(2) 生活環境の満足度	52
(3) 住んでいるまちにどのようになってほしいか	58
3. 緊急対策	61
(1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと	61

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち	64
(1) 健康状態	64
5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち	67
(1) 男女の地位平等	67
(2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先	75
6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち	78
(1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時	78
(2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度	81

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち	84
(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか	84

目次

8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち	87
(1) 羽田空港跡地について、どう感じているか	87
9. 持続可能な国際交流・多文化共生	90
(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか	90
(2) 賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか	93
《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》	
10. 魅力的で住みたいまち	96
(1) 地域活動への参加意向	96
(2) 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか	99
11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり	102
(1) 防災に対する意識	102
(2) 災害情報の入手手段	105
(3) 大田区防災アプリの認知度	107
(4) 大田区防災アプリの認知方法	110
(5) 住んでいるまちの治安の変化	112
12. 持続可能な地球環境	115
(1) 地球温暖化防止への関心度	115
(2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動	119
13. 区政への関心と要望	123
(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度	123
(2) 施策要望	126
(3) 区内施設の利用目的	130
(4) 区の媒体の利用頻度	133
(5) 区の行政サービスや窓口への印象	142
(6) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由	144
(7) 区の職員の窓口や電話対応への印象	146
(8) 区政への参加意向	148
(9) 区政に参加したいと思わない理由	150
14. 自由意見	152
基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	152
基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市	159
基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	169

IV 調査結果の概観	
1. 生活環境の満足度	187